

Primer Set BCS-1&2

(ボツリヌスC型毒素遺伝子検出用)

Code No. S023 容量：1,000 pmol each
濃度： 19 pmol/ μ l

添付試薬：
10 \times PCR Buffer 600 μ l

ウェブサイトに掲載している bacteria_primer_set の参考資料もあわせてご確認ください。

●検出遺伝子 ボツリヌスC型毒素遺伝子

●増幅産物 290 bp

●形状 滅菌水溶液

●保存 -20 $^{\circ}$ C

●使用例

1. 反応液組成

TaKaRa Taq (5 U/ μ l)	0.25 μ l
10 \times PCR buffer*1	5 μ l
dNTP Mixture*2 (2.5 mM each)	4 μ l
Template DNA*3	5 μ l
Primer BCS-1	0.5 μ l
Primer BCS-2	0.5 μ l
滅菌精製水	34.75 μ l
Total	50 μ l

(反応液は氷冷下で調製する)

*1：本 Primer Set に添付している。

*2：TaKaRa Taq Hot Start Version (製品コード R007A) に添付している。

*3：精製 DNA または熱抽出サンプルを使用。なお、熱抽出サンプルは、菌体をクックドミート培地中で 30～37 $^{\circ}$ C 一晩培養した培養液 10 μ l に、滅菌水 90 μ l を加え、95 $^{\circ}$ C、5 分間加熱後、遠心分離により菌体の残渣を除いた上清液を使用する。さらに感度が要求される場合は、同培養液 1 ml を遠心 (5,000 rpm、5 分間) 後上清を除き、菌体を 100 μ l の滅菌水に懸濁する。これを 95 $^{\circ}$ C、5 分間加熱後、遠心分離により残渣を除いた上清を使用する。

2. PCR 条件

94 $^{\circ}$ C	1 min.	} 35 cycles
55 $^{\circ}$ C	1 min.	
72 $^{\circ}$ C	1 min.	

●注意

本プライマーセットは、プライマーダイマーを形成しやすい傾向があります。本製品を用いた検出には、ホットスタート酵素である TaKaRa Taq Hot Start Version (製品コード R007A) の使用をお勧めします。ホットスタートタイプではない TaKaRa Taq (製品コード R001A) を用いる場合には、反応液を氷冷下で調製し、サーマルサイクラーの温度が 94 $^{\circ}$ C に上ってから反応チューブをセットすることでプライマーダイマー形成が抑えられます。

●使用に際して

・本キットは遺伝子検出であるため、不活化された細菌も検出し、菌のみを検出対象とするものではありません。また、設計した Primer の配列内に遺伝子の変異や欠損/挿入が生じた際には、検出できない場合があります。(検査結果判定により発生する問題に関して、タカラバイオ株式会社は一切の責任を負いません。)

・判定の確定には、遺伝子検査だけではなく、培養検査などの結果も併用の上、ご判断ください。

●参考文献

Huston, et al. *FEMS Microbiology Letters*. (1993) **108**: 103-110.

●注意

本製品は食品分析および環境分析用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。

v201812Da